



越路 4月 (No. 85)

発行/越路町役場(新潟県三島郡越路町) TEL 越路(02589) 2-3111 ■印刷/大川印刷所



親と子が交通安全の勉強

4月は入学のシーズン、今年新しく学校や保育所にかよう子供達があります。塚山保育園では、正しい道路での歩行や横断を勉強しようと、親と子がいっしょになって駐在さんと町の交通安全協会の方の指導を熱心に受けていました。6日から春の交通安全運動が始まります。みんなで交通ルールを守って事故のない明るい町にしたいものです。

住民基本台帳人口(2月末日現在)	2,954
世帯数	13,711人
内 男	6,658人
内 女	7,053人
2月の住民移動状況	
出生数	17人
内 男	8人
内 女	9人
死亡数	13人
内 男	10人
内 女	3人
転入数	17人
内 男	9人
内 女	8人
転出数	12人
内 男	7人
内 女	5人

- ▼昭和四十七年度一般会計予算 五億三、六九二万七千円
- ▼今年も生産調整にご協力を
- ▼春の全国交通安全運動四月六日～十五日
- ▼学童と園児の保護に
- ▼長寿おめでとございます
- ▼オオハクチョウの創製
- ▼PCPバムコン等が水質汚濁農薬に
- ▼農地取得に資金を貸付

今月の主な内容

実施月	会場	時間	対象者
四月	岩塚小学校	午後二時～三時	昭和46年1月1日～昭和46年12月31日までの出生者
四月	塚山公民館	午後二時～三時	同上
四月	越路町役場	午後二時～三時	同上

今月の行政苦情相談は 四月二十一日
お気軽においでください

実施日	受付時間	検査場所	検査実施区域
五月八日	九時～	神谷区事務所	岩野、釜が島、浦ノ島
五月九日	九時～	越路町役場	岩野、釜が島、浦ノ島
五月十日	九時～	岩塚小学校	岩野、釜が島、浦ノ島

越路町ガス供給指定工事店の案内
ガス指定工事店規程に基づき、昭和四十七年度指定工事店の承認を希望される方は、左記により申請書を提出してください。その他手続きなどかわしくは、ガス供給所へお問い合わせください。

自衛官募集
二等陸・海・空士外各種自衛官を募集しております。募集についての要項の問い合わせと、ご応募は役場総務課へ。お問い合わせは役場産業課へ。

万一の交通安全に備え交通災害共済に加入を
四月二十五日までに申し込みください。締切後のご注文には応じられないことがあります。

役場辞令(四月一日付)
課長級
議事事務局長(税務課長) 新保満、農委事務局長(庶務係長)

主事級
町民課(総務) 西沢利昭、総務課(税務) 丸山昌平、税務課(企業) 高橋一、総務課(町民) 田村朗、産業課(町民) 内藤洋子、町民課(農委) 佐藤清

主事補級
町民課(総務) 小野塚光子、企業課(税務) 金子修、町民課(税務) 半藤定一、小国町越路町水道企業団出向(総務) 田中正明

新採用(雇)
税務課安藤正芳、税務課阿部正彦、農委委員白井保、産業課大石巧、教育委員小野塚進、栄養師坂詰のり子

退職(三月三十一日付)
高橋春吉(議事事務局長)

自衛官募集
二等陸・海・空士外各種自衛官を募集しております。募集についての要項の問い合わせと、ご応募は役場総務課へ。お問い合わせは役場産業課へ。

容量及び価格
○容量及び価格
三十五リットル入れ(二斗入れ) 価格 九百五十円
四十五リットル入れ(二斗五升入れ) 価格 千五百円

直接役場衛生係まで申し込み
直接役場衛生係まで申し込みください。電話申し込みでも結構です。

申し込み期日
四月二十五日までに申し込みください。締切後のご注文には応じられないことがあります。

万一の交通安全に備え交通災害共済に加入を
四月二十五日までに申し込みください。締切後のご注文には応じられないことがあります。

役場辞令(四月一日付)
課長級
議事事務局長(税務課長) 新保満、農委事務局長(庶務係長)

主事級
町民課(総務) 西沢利昭、総務課(税務) 丸山昌平、税務課(企業) 高橋一、総務課(町民) 田村朗、産業課(町民) 内藤洋子、町民課(農委) 佐藤清

主事補級
町民課(総務) 小野塚光子、企業課(税務) 金子修、町民課(税務) 半藤定一、小国町越路町水道企業団出向(総務) 田中正明

新採用(雇)
税務課安藤正芳、税務課阿部正彦、農委委員白井保、産業課大石巧、教育委員小野塚進、栄養師坂詰のり子

退職(三月三十一日付)
高橋春吉(議事事務局長)

昭和四十七年度一般会計予算

五億三、六九二万七千円

町道整備を最重要に

町の昭和四十七年度予算は、さる三月九日に開会された町議会に提案され成立いたしました。一般会計の予算額は、五億三、六九二万七千円（前年当初より、七、五〇九万九千円の増加、伸び率一・六％）国民健康保険事業など特別会計予算は、一億八、六六二万六千円で、予算総額は七億二、三五五万三千円と大型予算になりました。

一般会計では、国の財政方針に基づく経済動向からみて、町税や地方交付税等主要一般財源の伸び悩みが予想される中で、ますます広域化が進む生活様式に対処できる町づくりを進めるため、町道整備事業を最重要とし、保育所の建設、生活環境の整備などを重点項目として予算配分をしています。

年次計画で保育所も整備

交通安全対策の充実

都市から郊外へと移ってきた最近の交通事故の問題に対処するため、交通指導員制度を新設し、事故のない明るい町づくりを推進してゆくことになりました。

社会福祉の充実

働く母と、子のため、保育所の整備を四十六年度から始まった年次計画により、新年度は来迎寺地域に定員百二十名の常設保育所を新設します。
（総事業費四、七二二万三千円）
老人クラブ補助金を月千五百円から二千円に引上げ、クラブ運営の充実を図る。

重点施策

1. 道路の整備

広域行政の生活圏を形造るには、先づ道路の整備が急務であるとの観点に立って、町道の改良、舗装を進める。

2. 社会福祉の増進

保育所の整備を年次計画により推進する。
○来迎寺地区に定員百二十名の常設保育所を新設する。
○岩塚地区については、用地を生行取得する。
○老人対策を充実する

3. 教育の充実

○義務教育施設を整備する。
○社会教育振興のため、諸団体の育成、指導を充実する。

4. 生活環境整備の充実

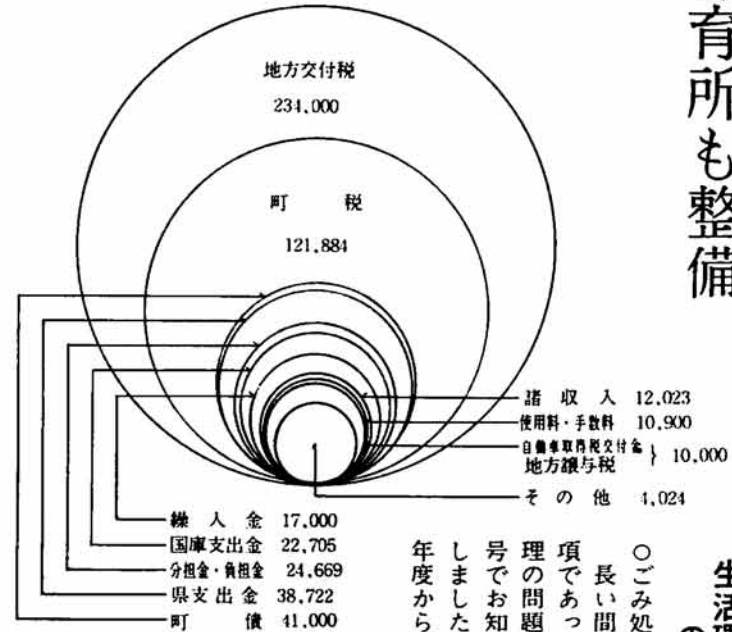
○ごみ、し尿処理は、本年度より新事業として長岡地区衛生処理組合で処理する。
○環境衛生排水を整備する。

5. 産業の振興

○農道整備事業を推進する。
○農業は、うまい米づくりを基幹として推進する。
○商工業の振興を図るため、産業育成資金の貸付枠をひろげる。

6. 保安の充実

○消防水利を充実する。
○交通安全対策を充実する。



生活環境の整備

○ごみ処理の開始
長い間の懸案事項であったごみ処理の問題は、先月号でお知らせいたしましたように新年度から新事業として収集処理集約をするにすることになりました。
○農道整備事業の推進
岩野地区と篠花地区農道整備事業の継続事業に、新しく新年度から越路原地区を含めて、農道整備事業を実施します。
（総事業費五、四七六万四千円）

産業の振興

○環境排水路事業を助成
十一ヶ所の排水路の新設、改良事業を補助し、排水路の整備を図ります。
（事業補助金二二万八千円）
○農道整備事業の推進
岩野地区と篠花地区農道整備事業の継続事業に、新しく新年度から越路原地区を含めて、農道整備事業を実施します。
（総事業費五、四七六万四千円）
○農道整備事業の推進
岩野地区と篠花地区農道整備事業の継続事業に、新しく新年度から越路原地区を含めて、農道整備事業を実施します。
（総事業費五、四七六万四千円）
○農道整備事業の推進
岩野地区と篠花地区農道整備事業の継続事業に、新しく新年度から越路原地区を含めて、農道整備事業を実施します。
（総事業費五、四七六万四千円）



46年完成の塚山保育所

基幹道路の整備

上越新幹線や関越高速自動車道など、高速時代に対処するため、交通網の整備、町道の整備を重点としました。
○町道改良継続五路線、新規九路線
○町道舗装十七路線
○橋梁架換一橋
その他、未改良県道の改良、舗装の促進を図ります。
（町道新設改良費四、六三三万円、県道改良関係負担金六八二万円）

保安の充実

防火水槽設置五ヶ所、小型動力ポンプの更新など消防施設を強化します。
（消防施設費六一万七千円）

教育の充実

昨年度までは、統合小学校建設を重点施策としてきましたが、学校建設も一段落しましたので、今後は「学校施設設備の充実と格差是正」「父兄負担の軽減」「社会教育の振興」を基本目標に取り組む。
（三面へつづく）

今年も 生産調整にご協力を

ご承知のように、年々米の消費が減退しているのに反し、米の生産は安定した収量を続けています。そのため、米の生産調整を余儀なくされ、二年前よりご協力を願っておりますが、今年も政府は米生産量から生産調整数量（減産）を差し引いた数量を買い入れ限度数量として指示することになりました。先般みなさまに、生産調整目標面積と政府米買入限度数量の通知を差しあげてありますが、転作を主体とした生産調整を奨励しております。今春は例年になく早く苗代準備も始まる季節がまいりました。早めに作付計画をたてられ、生産調整にご協力ください。

平均一三・三九％の減反

1 現在の水田耕作面積に、町の平均減反率（一三・三九％）を乗じ農家別の目標を算出しました。

2 四月下旬頃、改めて実施計画書を提出していただきます。

3 実施計画書に基づき、確認の結果次の奨励補助金が交付されます。

イ 休耕補助金一キログラム当たり六十八円

ロ 普通転作奨励金（単年作物）十アール当り五千円加算

ハ 特別転作奨励金（永年作物）十アール当り一万円加算

4 特別転作奨励金は、昭和五十年まで交付されます。

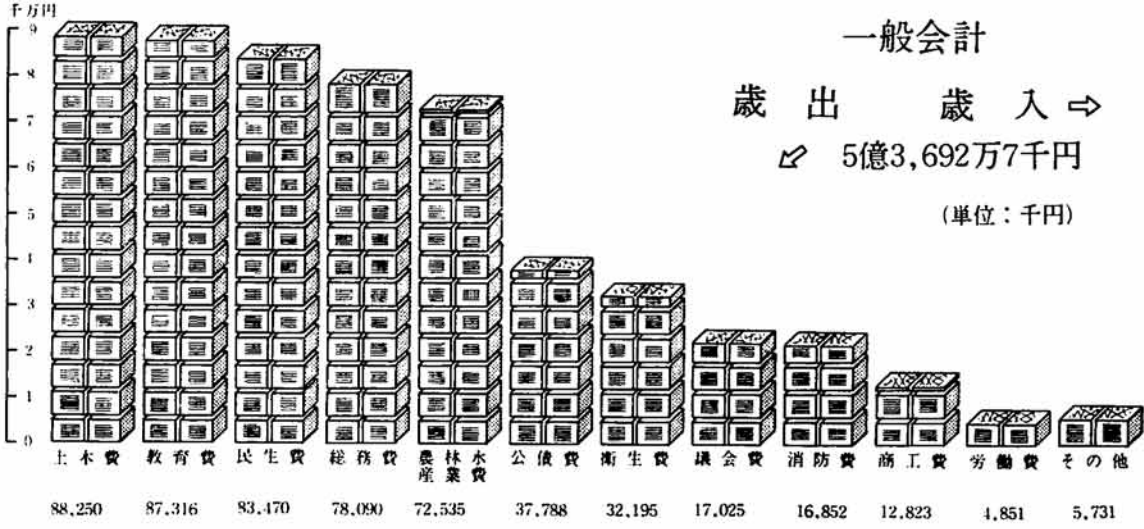
5 奨励補助金の対象は、一アール以上となりましてので零細経営農家は割当がありませんが、希望者は農家組合長又は役場産業課に申し出てください。

政府米買い入れは 八三％の割当

1 昭和四十二、四十三、四十四年の三年間において政府に売渡した平均数量（自主流通米を含む）を基として売渡限度率（八十三％）を乗じて割当しました。（俵単位に四捨五入）

2 越路原の耕作関係者は、昭和四十三、四十四年の二ヶ年平均売渡率を基準としました。

3 昭和四十六年度以降において、耕作地の異動を生じた方は役場産業課に申し出て訂正してください。



特別会計予算 (1億8,662万6千円)

国保事業1億3,485万4千円・ガス事業3,856万円・簡水事業1,321万2千円

本年度は、塚山小学校グラウンド整備、越路中学校体育館屋根張替、塚山中学校教室改装、屋根床張替など主な事業となります。

春の全国交通安全運動四月六日〜十五日 学童と園児の保護に

スクールゾーンを設定

今回は歩行者事故、特に新入学児童、園児等の事故を防止するため、交通安全スクールゾーンを指定し、この地域内でのこの交通安全を図ることにしました。



悲惨な

踏切事故をなくそう

踏切事故は非難です。昨年長岡市で発生した越後交通電車尾線の事故をみてもそれを物語っています。四十六年中の県下で発生した踏切事故は三十件、死者九人、負傷者百六十四人となり、四十五年(三十九件八人、三十七人)と比較して件数、死者においては大差はありませんが、負傷者において大きく上



表彰を受ける優良無事故運転者 席上長岡警察署長から、今後も表彰にはじないよう交通安全に留意されたことの激励の言葉があり閉会しました。なお越路町交通安全協会は昨年県本部長より過去のの実績を買われ表彰を受けております。

踏切内で立往生しては大変です。五見透しの悪いところでは助手が

おとうさん おかあさん
おとうさん、おかあさん
今どこにいるの
天国それともどこにいたって
でもいいんだ
そんなこといってたって
へんじをしてくれないうんね
でもいいんだ
わたしがあばあさんになって
死んだら
きつとあえるとおもうから
それまでまっけていてね
ぜったいだよ
天国にいるおとうさま
「交通遺児作文集」より

いたら誘導してもらおう。助手がいけない場合は窓をあげ、目で見、耳で聞いて充分注意すること。

六踏切内ではエンスト防止のためギアチェンジをせせろギアで一気に通過すること。

七踏切の巾が狭いところでの無理なすれ違いはさけること、脱輪のおそれがあります。

優良運転者にマーク交付

三月一日午後二時から商工会館において長岡警察署長を迎え、越路町交通安全協会主催による優良運転者マークの交付、優良無事故運転者の表彰が行われました。今回は優良運転者マークの交付は十四名、優良無事故運転者百九十八名の多くの方が表彰を受けました。



長寿おめでとございます

老人を敬い、その長生を町民が心を込めてお祝いする町の長寿者報償で、今年には次の十名の方々に米寿、三名の方々に九十五才祝寿の木盃と町長の祝詞が、また町及び町老人クラブ連合会から記念品として毛布が贈られました。

この報償制度は、百才以上長生された方には、八十八才、九十五才、百才と三つ重ねになるよう祝寿盃を贈呈することとしております。長い人生を郷土発展のために働

き続け、今日を迎えられましたこと老人の方々、皆さんが今後も一層健康に留意して、ますます住みよくなって行く社会に長生され、幸せな余生を送って頂き、町の長寿者報償を受けられますようお願いいたします。

- ◎米寿の方々
- 大字 世帯主 長寿者
 - 釜ヶ島 友次郎 佐藤カウ
 - 岩野 本人 大塚富吉
 - 浦 作松 遺水ギム
 - 中沢 熊男 山本シカ



オオハクチョウの剝製

二月十一日(建国記念の日)午許可をうけました。後、浦部西側の水田にオオハクチョウ(写真)の幼鳥が死亡しているのを、越路中学二年生の内山正弘君が発見、県治山課、長岡林業事務所の見検の結果、野生鳥獣へん死体所持確認書(二月十二日付第四六号)が交付されて剝製の

- | | |
|--------|--------|
| 西野 仁七郎 | 山本ヨキ |
| 朝日 精一 | 松井豊之助 |
| 沢下条 裕 | 藤井正 |
| 沢下条 平次 | 釜ヶ島 正蔵 |
| 塚野山 嘉七 | 松永スミ |
| | 神谷 久松 |
| | 中林トリ |
| | 沢下条 福蔵 |
| | 長束勇吉 |
- ◎九十五才祝寿の方々
- 大字 世帯主 長寿者
 - 釜ヶ島 正蔵 山崎トセ
 - 神谷 久松 永井サヨ
 - 沢下条 福蔵 長束勇吉

PCPP・パム

コン等が水質汚濁性農薬に

今年より「PCPP」や「パムコン」等が水質汚濁性農薬として指定されましたので、今後この農薬を使用する場合は必ず届け出て使用してください。

使用注意事項

- 1 「PCPP」「パムコン」を使用する者は使用開始二十日前までに役場に届け出ること。

農地取得に資金を貸付

農地(十アール以上)を取得し農業経営規模の拡大安定を図りたいという人のために、低い利率で貸付する農地取得資金貸付制度があります。

借入れを希望される方は、町農業委員会または各農業協同組合にお申し込みください。

- 貸付期間 五ヶ年〜二十五ヶ年
- 貸付金最高額 個人 八百万円 法人 千六百万円
- 利率 年利 三・五%
- 当町の資金配分額 前年度の貸付実績等により配分額が決定されるので、その年度により多少異なります。(昭和四十六年度配分額は八百三十一万円)
- その他 貸付条件に、各種審査事務があります。

凄惨を極めたイムパールを遙拝

ビルマ英霊巡拝団に参加して

郷 泰

一月十三日
第三回慰霊祭
 今日、マンダレイヒルにおいて巡拝団第三回の公式慰霊祭の日、午前九時マンダレイヒルの北側中腹において祭壇準備、眼下は一望千里、右は北シヤンステート、モロン山の山々が連なり、真中はマダヤ街道が真直ぐにタバキン方向にかすみ、右はイラワジの向うにシエボの森を望み、足許はと見れば鋭利な刃物を向上に並べたような岩肌、足をさらせば丈余の岩間がどす黒く口を開けた天然の要害ここを盾に友軍が死守したところ、午前九時二十分おごそかに銃聲と共に順序に従い焼香、風に吹かれて散華残のヒラヒラと散り、祖国の勝利と栄光を信じつつあたら青春をここに捨し戦友を想ば、万感胸に迫るを覚える、同行の山中元参謀はここを死守した際兵団の核心だった人、戦況説明はその場に居る心地して全員の涙をさそう。在天の靈よ安らかに眠れ、祖国は諸君のおかげでこの通り復興したのだ、いや成長したのだ。ありがとう、本当にありがとう。

午前十時二十分下山してバスに乗り、ヒルの南正面に出てマンダレイ寺院参詣に石段を昇る、想えば懐しい第一線との往復の途次いつも遙かにマンダレイの象徴ともいふべきこの丘のパゴダを見たものだが、其の頃は暇もなく行かず仕舞、ほとんど全ての団員が参詣に石段を登るのは始めてだ。頂上まで九百九十九段ありと聞く、途中には幾つかの金色の仏像あり、張出しテラスがあつて眺望その都度変化を伴つてすこぶる良好テラス毎に花売店ありて水蓮の花や南国の原色の花が売られていて午後〇時二十五分再びバスに乗ってアラカンパゴダへ、参詣をすませて午後一時三十分出発、まもなく広々としたイラワジ河畔に出る。洋々たる流れ、月日は過ぎれば四、五年前まではあつたが大洪水で流されたという。進行作戦から丁度三十年を過ぎているのだから無利もない、携行の内地米と酒タバコ、線香を供えて冥福を祈り去り難き思いを残してここを去る。修理成つて新装のアバ鉄橋は担々として、またたく間に之を渡る、河の中程でマンダレイで求めた水蓮の花束をそつと投げる。橋を渡つて右折れ凹凸の坂道をサガインヒルに登る、この眺望は絶佳という可く遙か対岸にマンダレイヒルの屹立するを見る、その向うに遠く霞むはモロン山の山々か頭を廻らせば西の方シエボのを経て遠くチンヒルの山々、その奥向うこそかの凄惨を極めたイムパールなのだ。団員一同深々と頭を垂れてしばし瞑目遙拝をなす。午後二時やつと食事となる、食後、石橋、山中元参謀の戦況説明あり詳細なるイムパール戦の全貌を聞いて余すところなし、空しい戦さだったのだろうか？ただ風の音のみきこえて正に悲愴極りなし。

それはさておきこのサガインヒルこそはイムパール戦末期我軍前岸最後の拠点にして烈五八連隊が立籠つた陣地だったのだ、同行の五八連隊の諸氏は特に感無量なだろう、目を真赤にし乍らあのパゴダの下の穴は俺達が帯剣と十字

歎とて掘つた岩穴だ、あの深い地隙は指揮班だとの声しきりであつた。午後三時山を降りて帰路につく、午後五時帰着す。

一月十四日(金)
 UBRビルマ国有鉄道の旅
 午前四時起床、四時三十分朝食五時二十分マンダレイ駅へ、駅前はまだ真暗だが汽車に乗る人客待ちミンレイ(一頭曳き馬車で日本のタクシーに当る)サイカー(自転車の脇に専用シートを付けたもの)荷運びの人多くして雑沓す。ラングーン行特別急行列車の一等車(我々のための特別仕立)におさまる、車内は広々として背中には白布がかけられ天井にはごつい扇風機が廻る、以前私の居た頃の機関車は薪をたいていたが、今はディーゼル機関車に変わった。ラングーンまで六百二十一キロで十二時間と聞く、日本では今は十二時間も乗り続けることは殆どなくなつてきたが、今日は楽しい汽車の旅としゃれこむ。どうせビルマの汽車だ時間表はあてになるかと思つていたら、正に定時に発車して一路南下す。振動は多いが特急列車は快適に南下を続ける。ミンゲの鉄橋通過、この上流約十五料のタモクソウは祭兵団マンダレイ脱出時最も苦戦した所と聞き、其の方向に合掌す。時間表の通りタジ、トングーに停車、駅ではビルマ人物売りのかましい声、色浅黒き現地娘が頭の上に水瓶を乗せて右手にヤカン左手にコップを持つて水売りに来る様子は三十年前と全く変わっていない。トングーを過ぎて車窓右側に低く長く見ゆるはペグー山系なり、憶えば昭和二十年五月英印軍の怒濤の追撃に抗する術もなく、ついにラングーン陥落と共に西南ビルマで建斗を続けていた第二十八軍は完全に敵中に孤立してしまい勇将桜井中将、智将岩崎少将の卓越した指導によつてこのペグー山系に兵力を集結、全く自活自戦を敢行、約半数の犠牲を生じ乍ら主力は陰忍苦斗克服方面軍主力のいるシタン左岸に脱出を遂げたのもこの辺りと察すれば一同襟を正して、しばし瞑想心から戦友に合掌した。シタン河口の守りを固め、当時この脱出作戦のための陽動作戦任務を以つて急流のシタンを渡河前岸ニヤンカッシュ方面からペグーに攻勢した第一八師団の前に悪戦苦斗漸く出て来た当時の策集団将兵のその服装のひどかつたのを今更乍ら思い浮べる。こちららもビルマ軍既に四年となりボロもいひ所だつたが、策集団諸氏はそれ以上のボロ、殆ど脱し、まとうものは腰間の片布のみ、甚だしきは全くの全裸で生ける屍、執銃する者は殆どなく僅かに飯盒のみを下げる、痛ましいと云うより他になかったのである。私はこのシタンで終戦を迎えたのである。しばしの瞑想からふと吾にかえつて車窓を見れば、そろそろペグー山系も小さくなりつつある。

越路町老人クラブ連合会

会長 高橋 亮三
 副会長 西脇又太郎
 馬場 謙司

わが国の高齢者人口は、今年年と共に増加の傾向を示し、老人問題には大きな関心が寄せられていくことは周知の通りであります。昭和三十八年に老人の福祉を目的とした老人福祉法が制定され、その一環として全国の津々浦々に至るまで老人クラブができるようになり、当町においても三十八、九の両年にかけて、各大字に合計二十五の老人クラブが結成されたのであります。

そこでこの多数のクラブを結集して連合会を作り、上司からの連絡事項の徹底を図ったり、相互連絡を密にして町内老人の福祉増進に寄与しようとの主旨のもとに、昭和三十九年十月本連合会の組織をみたのであります。以来八ヶ年の今日、所属クラブ二十七、全会員千五百名を数え、三古岡郡最大の会となっております。

次に本会が実施している年中行事について記してみよう。

一、米寿者に記念品贈呈

二、八十八才の誠にお目出度い年を

迎えられた人達はその長寿を祝うため、与板の長命寺、前波住職や白井前町長筆の色紙入り額を毎年贈呈していましたが、今年から町と合同で記念品を贈ることになりました。

一、老人クラブ指導者研修会の開催

「事業は人なり」と申しますが、会に於いても同様でその盛衰は一に係って指導者の運営如何に依りますので、指導者が教養の向上に努めその視野を広げねばとの主旨に基づき、各クラブの正副会長を対象として毎年研修会を開催しています。

当日は、三古社会福祉事務所長その他優れた講師を招いて、老人の福祉に関する話や諸々有益な講話を拝聴し、町当局者からは町政その他指導者に必要なお話を願っています。またレクリエーションとして町内五地区から毎年順番で婦人会の舞踊奉仕がありますのでその熱演を観賞します。

三、十年勤続会長の表彰

確定申告がまちがっていたときは

所得税の確定申告は三月十五日で終了しましたが、申告をしたあとで税金を納めすぎたり、納め税金が少なかつたりして内容がまちがっていたことに気づかれた方は、訂正することが出来ます。「修正の申告」または「更正の請求」をしてください。

また確定申告を忘れていたときは、期限後でも確定申告をするこ

八幡峠の六地藏様

はすつかり草木におおわれ、道行く人もなく荒れはてていた。六地藏とは、六道(地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人道・天道)に迷う人々を救う仏であり、部落の入り口や岐れ道に建てられ、道行く人々の標となり、安全を祈つたものであるという。

八幡峠の六地藏様も、右に下れば灰下部落へ、左へ下れば菅ノ谷の三軒家を通り高島部落へたははたした。その昔、飯塚、灰下、高島の部落の人々は、この峠によって数々の縁組がなされ、峠道の往来もはげしくにぎやかであつたであらうに……。今は新道もつけれられ、過疎の波が押しよせるなかで、この道はすっかり廃道となり、六地藏様もまた、やがては人々の心から消え去られることであらう。生死流転の世の中である (合掌)

道ばたの神と仏

その昔、飯塚、灰下、高島の部落の人々は、この峠によって数々の縁組がなされ、峠道の往来もはげしくにぎやかであつたであらうに……。今は新道もつけれられ、過疎の波が押しよせるなかで、この道はすっかり廃道となり、六地藏様もまた、やがては人々の心から消え去られることであらう。生死流転の世の中である (合掌)



その昔、飯塚、灰下、高島の部落の人々は、この峠によって数々の縁組がなされ、峠道の往来もはげしくにぎやかであつたであらうに……。今は新道もつけれられ、過疎の波が押しよせるなかで、この道はすっかり廃道となり、六地藏様もまた、やがては人々の心から消え去られることであらう。生死流転の世の中である (合掌)

役場機構と職員配置

(昭和47年4月1日現在)

